

2011年1月19日

大学入学前教育及び初年次教育教材 『BLUE（ブルー）※1』 サービス開始のお知らせ

株式会社 古藤事務所（住所：東京都新宿区）は、大学生の転換教育教材『BLUE』のサービスを開始いたします。

本教材はレポート作成と添削指導を通して「高校までの学習」から「大学での学び」への導入教育をサポートします。

AO・推薦入試生の大学入学前教材として、あるいは大学初年次に行う転換教育用教材として、全国の大学での導入を目指します。

開発のストーリー

大学全入時代の今日、社会に出る前に自らの価値をしっかりと高めることができる学生が求められています。当社では「卒業後の未来を展望し、**学生時代をどう過ごすかをいち早く考え始める学生**を育てるにはどうしたらよいか？」を目的にBLUEの開発をスタートしました。

その目的に答えるキーワードは「**転換教育**」でした。転換教育は高校生までの「望ましい答えが最初から用意されている学習」から「**自分で問題を掲げ、答えを探し出す大学での学び**」へ導く教育です。

高大接続の課題として「**入学前教育**」があります。一般に入学前教育といえば高校までの復習（**リメディアル**）を指しますが、当社では転換教育は早ければ早いほど効果的と考えました。そこで初年次教育のみならず、入学前教育としても受け入れてもらえるよう、教材プログラムの設計を行いました。

自分で問題を掲げ、自分なりの方法で答えを発表する形式としてレポートがあります。大学では、教育・研究・事務と一人一人の教員にかかる負担は大きく、成績評価のレポートが添削・返却されることは一般に稀です。そのため**レポートの書き方の手ほどきを受けた大学生が少ない**のも現状です。本教材はレポートをしっかりと添削・返却することで大学のニーズに応え、転換教育を実現します。

コンテンツのご紹介

現場にいる若手の才ある執筆陣

レポートの選定および課題の執筆は東京大学を中心とした若手の教員・研究者に依頼し、初年度は10本のテーマを用意しました。「一般の人に話しても『面白い』と言われる話題」を切り口に、学生の好奇心を刺激するテーマを集めています。

深く思索する力を生み出すためのガイド

BLUEは受験科目の小論文のような、90分あれば書き上げることができる構成ではありません。設問に答える形の調査を通してテーマの掘り下げを行い、どこまで考えれば説得力のあるレポートが生まれるのかを体験してもらいます。

広く見渡す力を育てるウェブサイト

テーマの掘り下げだけでなく、テーマの多方面への展開を学生に体験してもらうために、BLUEではウェブサイトを用意しました。レポートのテーマの周辺を埋める各方面へのインタビューや取材記事を掲載しています。周辺の知識を底上げすることにより、一層の肉付けを行い、テーマ同士の関連を探るという学習を迫体験してもらいます。

ウェブサイトはどなたが読んでも楽しめるコンテンツに構成してあるので、誰でも閲覧できる非営利サイトとして公開いたします。

<http://www.blue-library.com>

誰が読んでくれるのか？

誰が添削を担当するか、どれくらいしっかりと時間をかけて添削するかは、BLUEの最重要課題の1つです。当社の主業務は大学の入学試験問題のチェックです。その人脈を活用し、BLUEでは自律的な添削ができる添削者を起用します。当社では優れた読み手に読んでもらい、正してもらい、評価してもらうことに勝るレポート教育はないと考えています。

手で書く刺激はワープロとは別の刺激

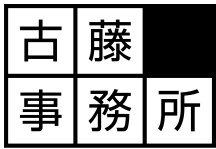
BLUEは手書きのレポート形式を採用しました。大学以降は手書きの文章を書く機会は少なくなってしまう。きれいな字に努めてあやふやな漢字などを点検し、脳に刺激を与えます。

<サービス概要>

- 概要：** 大学入学前及び初年次の転換教育用レポート教材及び添削サービス
日程： 来年度の入学前教育／初年次教育に合わせてサービスイン
対象： 全国の大学・短大
価格： 導入形態に応じて個別相談
問合せ先： 株式会社 古藤事務所 西村
 電話番号： 03-3347-8170（代表）
 FAX番号： 03-3347-8177
 e-mail： nishimura@kotoh.co.jp

※1 BLUEは the **B**asic **L**earning for **U**niversal **E**xplorationの略です。

株式会社 古藤事務所 紹介



KOTOH & COMPANY

古藤事務所は、1970年より大手予備校で教鞭をとってきた古藤晃が代表となり、1980年に設立されました。いわば「公教育の矛盾の結節点」ともいう予備校において、「学びの本質」とは何かを問い、さまざまな形で高校生向けの教材を開発し、同時に、多くの出版物の企画と編集を行ってきました。2000年からは大学向けの業務を開始し、入学試験問題の内容チェックならびにサンプル問題の作成等を行っています。さらに、その過程で、大学より要請を受け、大学生向け

ディベロプメンタル教材(リメディアル教材)の開発も行い、2011年1月現在、全国の100大学を顧客としています。

所在地：〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-26 立花新宿ビル6F

電話番号：03-3347-8170（代表）

FAX番号：03-3347-8177

URL：<http://www.kotoh.co.jp>

古藤事務所 運営ウェブサイト



考える高校生のためのサイト“MAMMO.TV”

“MAMMO.TV”は、いま、高校生のあなたに、そしてかつて高校生だったあなたに、情報あふれる現代社会の中で、自分の頭で考えるヒントを見つけ出すためのサイト。毎日のニュースからコラム、インタビューま

で、オリジナルなアイデアと魅力がいっぱいです。（2000年より毎日更新）

多分野に渡るインタビュー：文学／マスコミ・評論／大学・教育／環境・福祉・社会／音楽／美術・建築／医学／料理・服飾・生活／ビジネス／政治 他の多岐にわたる分野の最前線で活動するエキスパートたちのインタビューを掲載しています。ウェブサイト発足時から今までに280人以上の方にご協力いただいています。

連載コラム：高橋源一郎さん（明治学院大学教授・作家）をはじめ、5本のコラムをウィークリーに更新。